

特集：最近話題の断層イメージング

Guest Editor 大島 統男

この度、町田編集委員長から2001年6月号の編集ご依頼を受けました。そこで、伝統ある本研究会誌の会員の皆様にとって興味がありかつ有益な内容を、と思ひまして私が比較的頼みやすくしかも筆の速い先生方にと交渉しましたところ、思いのほか多くの原稿をいただき、次ページ以下のような充実した内容となりました。

- 1) 竹田先生には、心臓SPECTの最近の進歩
- 2) 小須田先生には、骨シンチグラフィと骨SPECTの適切な使い方
- 3) 北川先生には、PET装置の現状と将来
- 4) 武田先生には、種々の物理原理を用いた新しい放射光イメージング
- 5) 大島は、アルツハイマー病の診断における脳血流SPECTの評価
- 6) 留森先生には、全身FDG-PET検査の胃集積に関する検討
- 7) 矢野先生には、小児の急性化膿性髄膜炎におけるCT, MRI, SPECTの検討

をそれぞれ分担執筆していただきました。各先生方にはお忙しい中、本企画のため時間を割いていただき誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。会員の皆様にとり、本企画が有益でありますことを祈念致します。